



ひろせ しんご  
**廣瀬 新伍さん**



はまおか みちほ  
**濱岡 宙穂さん**



やました かよこ  
**山下 佳代子さん**

国際協力機構（JICA）の海外協力隊として海外派遣を控える3名が、自治体の課題解決に取り組む事前実習のため、芽室町に訪れ活動をしています。研修期間は10月から12月までの75日間。短い期間ですが、世界での活躍を見据え、芽室町で研鑽を積む皆さんにインタビューしました。

**国際協力機構（JICA）とは：**  
日本の政府開発援助（ODA）を元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。JICAホームページより▽

**全員で町を盛り上げようとするエネルギーが魅力とする**

3名は、海外派遣前に地域活性化や地方創生等に関する経験を積み、それらを派遣先で生かすことを目的とした「グローバルプログラム」に参加しています。実習先は全国各地にあり、それぞれが希望を出すことができるのですが、これまで来たことがなかったため興味があった



▲ブラジルで高齢者介護の活動に就く山下さん。親日的なところなのであまり不安はないと話します。



▲ペルーで現地のパークレンジャーとともに自然環境や生態系の保護に取り組む濱岡さん。

という北海道の中から、中でもひときわ目を引いた実習概要を見て、芽室町を実習先として選んだと言います。「実習概要から、町民と行政の距離が近いことが伝わってきて、町のエネルギーも感じられた。そのイメージ通りで、一緒に町を盛り上げようとしている姿がとても魅力的」と声をそろえて町の印象を話しました。



▲申し込みのきっかけとなった芽室町の実習概要データ。

**自身の得意分野と向き合い世界で最大の発揮を**  
4月からは異なる国で、「高齢者介護」「環境教育」「野球」と、それぞれの得意分野を生かし、活動をしていくこととなります。「芽室町でもそれぞれの得意分野をさらに伸ばせるよう、実習

に臨みたい」と意気込みます。例えば濱岡さんは、自然環境の保護に取り組む過程で、フランスで開発された気候変動教育ワークショップ「Climate Fresk Japan」に所属しており、「芽室町でも環境教育を進めたい」とこのセミナーの準備を進めています。

**「チーム芽室」で**

**応援し関係性を構築**  
この実習の受け入れ主体は「一般社団法人十勝プラス」ですが、町としても、来年4月以降も海外派遣中の情報交流や帰国後の芽室町まちづくりの担い手として期待しており、実習期間の3か月間は「チーム芽室」として、幅広く、密に関係を築いていく考えです。

町で見かけた際には、温かいエールをお願いします。3名は12月18日まで芽室町に滞在し、来年4月に各派遣先へと旅立ちます。



▲中学校教員の経験を生かし、アルゼンチンで野球の指導や普及をする廣瀬さん。

## まちのうごき

10月20日 芽室町内

### 秋のクリーンアクションめむろ開催！



芽室町生活環境推進会主催による「秋のクリーンアクションめむろ」が開催されました。団体や個人で約

150名の方が参加され、郊外地を中心に6か所、また、中学生や徒歩の方は、まちなか(中心市街地区)のごみ拾いを行っていただきました。

タイヤなどの大きな物も捨てられており、最終的には2トンのトラック2台がいっぱいになるほどのごみが回収されました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

ポイ捨てや不法投棄の多くはマナーやモラルの欠けた大人たちが行っている行為です。未来の世代に「きれいな町めむろ」を残していけるよう、引き続き、一緒に取り組みを続けていきましょう。

10月17日 芽室町役場

### 「私の地元応援基金」を贈呈いただきました



明治安田生命保険相互会社様から『私の地元応援募金』を贈呈いただきました。

こちらは明治安田生命保険相互会社様が地元貢献活動の一環として行っているもので、自治体や団体等を対象にご寄付をいただいております。芽室町へは昨年

に続いてご寄付をいただきました。数ある自治体・団体の中から当町を選出いただき、ありがとうございました。

いただいたご寄付は、大切に使用させていただきます。

明治安田生命保険相互会社様、ありがとうございました。

10月3日 芽室中学校

### 地域住民へ合唱披露



芽室中学校の3年生が総合学習の一環として、地域住民の皆さんをお招きし、合唱を披露しました。文化祭のリハーサルも

兼ねて実施し、3クラスが本番を想定して歌唱しました。

芽室中学校の校歌を作詞した堤美智子さんも会場にお越しになっており、堤さんを前に3年生全員で校歌も歌いました。堤さんは合唱前に「このような機会にビックリです。天井がひっくり返るような思い」と語り、合唱が始まると感動の涙。「なつかしい気持ちになりました」と感想を話しました。

最後には、芽室合唱団の皆さんが1曲披露。聴く人たちを魅了しました。

11月1日 あおばクリニック

### 北海道国民健康保険団体連合会表彰



あおばクリニック(東7条6丁目)の佐藤剛利院長が、北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞しました。芽室町国民健康保険運営協議会委員を平成23年6月から連続して12年務め、保険医としての立場から貴重な意見をいただき、本町の国民健康保険運営に顕著に貢献されています。11月1日には、手島町長から表彰状と記念品が授与されました。受賞おめでとございます。

10月24日 芽室西中学校

### 芽室けいせい苑と異年齢交流



芽室西中学校の2年生が、校外学習で特別養護老人ホーム「芽室けいせい苑」を訪れ、異年齢交流を実施しました。7月の職場体験

で両者につながりができたことをきっかけに、学校側の「町内の人と交流を深めること」と「文化祭の合唱曲を校外でも聞いてもらう機会をつくること」を目的に実現しました。

10月上旬に文化祭で歌った合唱曲を披露すると、感動の涙を流す入所者の方も。その後は、生徒が事前に考えてきた質問をもとに交流を深めました。「子どものころの思い出」や「幸せを感じる時」など、年齢が大きく異なることからこそその違いも発見でき、生徒からは「貴重な話を聞くことができた」と感想が聞かれました。入所者の皆さんにも交流の中で笑顔が見られ、芽室西中学校初の取り組みは、双方にとって充実した時間となったようです。

10月9日 上美生小学校

### 地域防災力を高めて持続可能な地域づくり



上美生小学校で「上美生総合防災訓練」が行われました。上美生小・中学校学校運営協議会が主催で今回で3回目。年代に応じた「自助・共

助・公助」の役割を知り、地域、学校、保護者、関係機関が連携して災害時の避難所運営をすることで、地域の防災力を高めることを目的に実施しています。

今回は、小中学生や教職員、町内会、自衛隊、消防署などから約200名が参加しました。

上美生小学校の体育館を避難所とし、心肺蘇生訓練や段ボールベッドづくりなどを体験。また、小学校敷地内で自衛隊の車両見学や炊事車によるカレー作り、消防車での消火訓練など、関係機関の協力も得ながら幅広い体験活動が行われました。体験を終えた子どもたちからは「自衛隊に触れることができた」「消防車の放水がすごかった」「災害が起きたときに、自分にできることを再確認できた」など、たくさんの学びがあったようで、一緒に参加した大人たちも子どもたちに頼もしさを感じている様子でした。

9月20日 めむろ一ど

### 令和6年度保育士合同研修会を開催



9月20日(金)に、東京大学大学院教育学研究科 遠藤利彦教授を講師に迎え、「幼児期におけるアタッチメン

トの重要性と保育者の役割」と題し、町内の幼児施設職員65人の参加により、研修会を開催しました。講演の中では、「自己信頼」と「他者信頼」の2つは、人間が最初に身につける土台形成となり、併せて「非認知能力」の構築にも繋がることから、乳幼児期に最も近くにいる大人の存在は、「安全な避難場所」や「安心の基地」の役割を果たすという理論でした。参加者は自分自身の保育を振り返るきっかけとなり、翌日から保育に活かせる研修となりました。

10月5日、6日 東京都墨田区

### すみだまつりに出展



東京都墨田区の錦糸公園で開催された「すみだまつり」に出展してきました。十勝から西部4町が参加し、芽室町はじゃがい

もやゴボウなどの農産物を販売しました。

芽室町と墨田区の交流は令和元年から主に食を通じた交流を続けており、今回の出展にも墨田区の食育団体(すみだ食育goodネット)のみなさんにお手伝いいただき大いに盛り上げてくれました。来場者は2日間で約33万人。用意した農産物約1,500点は無事完売しました。

「芽室町を知っているから来ました」という方や、区長、区議をはじめ多くの関係者の方が訪れ、確実に知名度が上がってきていることを実感しました。